

第3学年国語科学習指導案

日時 平成23年11月22日(火) 5校時
児童 3年3組 男17名 女15名 計32名
指導者 土川 純子

研究課題

叙述を基に、豊かに想像しながら読む力を育てる授業

研究課題について(設定理由)

本学級の児童は国語の学習に意欲的で、特に物語文には関心が高い。一方、物語の構成を把握したり、登場人物の心情や性格を行動や会話の描写から想像したりすることに苦手意識をもっている児童も少なくない。

そこで、叙述を基に、想像を働かせ読む力が必要だと考えた。物語文において、地の文や行動、会話などの表現を選び出し、それぞれの登場人物の性格や様子を把握すること、場面や情景の移り変わりとともに変化する気持ちを想像することに重点を置き、学習を進めていく。また、自分の体験や取り巻く現実に合わせて読むという読み方やそこから考えたことなどを交流するという活動も取り入れていく。物語文の学習を通して、単純な空想や突飛な想像ではなく、叙述を基にはっきりとした根拠をもって想像しながら読む力を伸ばしたいと考え、この課題を設定した。

- 1 単元名 物語の感想をまとめよう
教材名 「ちいちゃんのかげおくり」(あまんきみこ) (光村図書 3年下)

2 単元について

(1) 児童観

本学級の児童の多くは読書を好み、読書タイムや少しの時間を見つけては読書している。また、自分の読んだ本の感想を話したり、友達が読んでいる本に興味をもったりと本に対する関心も高い。一方で、読んでいる本の種類に偏りがあるといった課題もある。

児童はこれまでに「読むこと」における物語文の学習として、「海をかつとばせ」では、主人公の行動や会話文、様子を表す言葉から主人公の気持ちの変化を読み取ったり、主人公の人物像を想像したりする学習を行ってきた。また、登場人物と自分自身を比べて考えたことを発表し合う活動も取り入れてきた。「三年とうげ」では、場面の移り変わりに注意しながら読み、登場人物の気持ちや性格、情景を読んできた。これらの学習を通して、場面の様子を想像したり、登場人物の気持ちの変化の根拠となる言葉を文中から見つけて読み取ったりすることができるようになってきた。しかし一方で、登場人物の行動から気持ちを想像しながら読むことができない児童がおり、想像力に大きな個人差がある。また自分の考えや思いを伝えることを苦手としている児童も多い。

そこで本単元の学習では、登場人物に寄り添って読み、叙述を基に想像を広げながら読み深める活動を行っていく。登場人物の会話文や様子を表す言葉からどんな気持ちが想像できるかを考えさせたり、場面ごとに感想をもたせ、それはどの部分から感じたのかを明確に表現させたりするなど、叙述に即した読みを大切にしていきたい。

(2) 教材観

本単元で育てたい主となる能力は、学習指導要領第3学年及び第4学年の「C 読むこと」の内容にある「ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。」である。また、単元の中核となる言語活動として「物語を読み、感想を書く」を位置づける。

本教材は、児童が初めて出会う戦争作品である。児童が自分たちの生活とは遠くかけ離れた過去の出来事の「戦争」や当たり前とと思っている家族との生活、命、未来などの「平和」を、主人公「ちいちゃん」の目を通して、客観的に自分自身の目で見つめることになる。そこで、物語を読むときには、一つひとつの言葉や表現、状況の描写を大切に、児童の五感に訴えながら読ませることを大切にしたい。また、場面と場面のつながりや場面の役割に気を付けて読むことや細かい言葉の表現の違いに気を付けて場面の様子や人物の気持ちを想像しながら読むことで確かな読みの力を身に付けさせたい。場面ごとに「引用」や「要約」を使って感想をまとめていき、最後に並行読書をした作品から感じたことや考えたことを文章に書くという言語活動につなげていく。

(3) 指導観

指導に当たっては、次のように展開していきたい。

第一次では、学習の見通しを持つようにする。そして、単元を通しての主な活動となる感想を書くことにおいて、豊かな表現ができるように感想文の書き方を示し、引用や要約の仕方を理解する。

第二次では、場面ごとに読んでいき、心に残ったことを感想文にまとめていく。会話文や様子を表す言葉に着目させ、ちいちゃんの気持ちを想像しながら読んでいく。第一場面の「かげおくり」と第四場面の「かげおくり」との違いを考えながら、ちいちゃんが一人でした「かげおくり」はどのようなものだったのかを読み深めていきたい。さらにちいちゃんのいない現在の公園が書かれている第五場面がなぜあるのかを話し合うことで、戦争が過去だけの話ではなく、自分たちの命や未来までも奪ってしまうものであることや平和の大切さについて関心を高めていきたい。また、戦争がちいちゃんから奪ったもの、奪えなかったものを考え、本教材の主題についても考えていく。

第三次では、並行読書した本の感想を書いていく。本文を引用し、自分の感想を明確に表現するための言葉を選び、工夫して書いていく。「感想文発表会」を設定し、友だちとの考え方の違いや書き方の違いに気付くことができるようにしたい。

3 学習指導目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

戦争に関する本や文章を読み、進んで感想を書こうとする。

(2) 読む能力

場面の移り変わりに注意しながら、人物の行動、情景、会話などの表現に着目して場面の様子や人物の心情を想像しながら読むことができる。

(読 ウ)

場面をまとめたり、文を引用したりして感想を書くことができる。

(読 エ)

(3) 書く能力

感想の内容や書き方を比較し、考えの明確さなどについて意見を伝え合うことができる。

(書 ウ)

(4) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

文章中で使われている表現に注目し、表現するための語句を増やすことができる。(言イ【オ】)

4 指導計画

(「読むこと」9時間 「書くこと」3時間)

次	時	学 習 内 容	
一	1	・読書感想文の書き方を知り、学習計画を立てること。	並行読書
	2	・「ちいちゃんのかげおくり」の全文を読み、初発の感想を書くこと。	
二	3	・第一場面のかげおくりの様子や家族の心情を想像しながら読んで、感想を書くこと。	
	4	・第二場面でひとりぼっちになったちいちゃんの気持ちを想像しながら読んで、感想を書くこと。	
	5	・第三場面の家族の帰りを待つちいちゃんの気持ちを想像しながら読んで、感想を書くこと。	
	6 (本時)	・第四場面の「かげおくり」の様子やちいちゃんの心情を想像しながら読んで、感想を書くこと。	
	7	・最後の場面でちいちゃんのいない公園がでてくるのはなぜかを考えること。	
	8	・戦争がちいちゃんから奪ったものと奪えなかったものについて考えること。	
	9	・「ちいちゃんのかげおくり」についての感想文を書くこと。	↓
三	10,11	・並行読書した本の感想文を書くこと。	
	12	・感想文発表会を行い、友達との同じ考えや違う考えを比べること。	

5 本時の指導

(1) 目標

- ・ ちいちゃんが一人でした「かげおくり」はどのようなものだったかを想像しながら読み，ちいちゃんの家族に対する思いを考えて，根拠を明確にした感想を書くことができる。

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 (評価)
<p>導入</p> <p>5分</p>	<p>1 前時の学習内容を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>ちいちゃんにはなぜ4つのかげが見えたのだろう。</p> </div> <p>3 課題解決の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時では家族の帰りを待つひとりぼっちのちいちゃんの気持ちを想像して場面の感想を書いたことを想起させ，本時の学習への意欲を高める。 ・ 本時も，根拠となる本文を引用し，場面の感想を書くことを確認する。 ・ ちいちゃんの様子やまわりの様子などに着目して，ちいちゃんが一人でした「かげおくりの様子」を想像し，次にそのときの「ちいちゃんの気持ち」を考えていくことを確認する。
<p>展開</p> <p>30分</p>	<p>4 学習場面を音読する。</p> <p>5 学習課題を解決する。</p> <p>(1) ちいちゃんがひとりでしたかげおくりの様子を想像し，話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人学び ・ 学び合い <p>(根拠となる叙述例)</p> <p>暑いような寒いような気がしました。</p> <p>ひどくのどがかわいています。</p> <p>ふらふらする足をふみしめて立ち上がると</p> <p>声が青い空からふってきました。</p> <p>(2) ちいちゃんに4つのかげが見えたわけについて考え，話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペア交流 ・ 学び合い <p>(3) 全体での交流をもとに書きまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ サイドラインを引いて，根拠となる叙述を明確にしなが，ちいちゃんのかげおくりの様子を想像させる。 ・ ちいちゃんの様子から体調をくずしてふらふらしながらも，懸命にかげおくりをしようとするちいちゃんの様子を想像させる。 ・ まわりの様子から，第一場面とは違ったかげおくりが始まったことを想像させる。 ・ 4つのかげが見えた理由を考えることで，ちいちゃんの家族に対する深い思いについて想像できるようにする。 ・ ちいちゃんの様子やまわりの様子から，家族に会いたいという強い思いがちいちゃんに白いかげを4つ見せたことに気付かせたい。 ・ 「家族に会えて，ちいちゃんは幸せだったのか」という発問をし，単に家族に会えたから幸せであるという読みにならないようにする。 <p>ちいちゃんが一人でした「かげおくり」はどのようなものだったかを想像しながら読み，ちいちゃんの家族に対する思いを考えることができたか。</p> <p>(ノート・発言)</p>
<p>終末</p> <p>10分</p>	<p>6 本時の学習のまとめをする。</p> <p>(1) 場面の感想を書く。</p> <p>(2) 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 根拠となる本文を引用し，ちいちゃんについて感じたこと，思ったことを書くようにする。